

## 亀岡市循環型社会推進審議会 会議記録

会議名	第54 回会議
日時	令和5年 3 月2日(木)午前14 時00分～16 時00分
場所	亀岡市上下水道部庁舎 3 階会議室
出席委員	別添名簿13名のうち 10 名
事務局	10 名
傍聴	2 名
次第	
1 開会	
2 会長挨拶	
3 審議事項 一般廃棄物処理基本計画の策定(改定)について(その 4)	
4 その他 持ち込みに係る粗大ごみ処理手数料の改定について	
5 連絡事項	
6 閉会	

## 会議の概要

### ■事務局

定刻となりましたので、只今から第54 回亀岡市循環型社会推進審議会を始めさせていただきます。

皆様には、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

開会にあたり、会長より挨拶を頂きます。会長、宜しくお願い致します。

### ■(会長挨拶)

### ■事務局

当審議会の運営につきましては、審議会条例施行規則第5条第2項により、委員の半数以上の出席がなければ会議が開催できないと規定されています。

本日は、委員13名中 10 名の出席をいただいております、半数を超え、本会が成立していますことをご報告致します。

なお、本日は本市が計画策定業務を委託している事業者がオブザーバーとして参加しております。また、本日の審議会については傍聴の希望の申し出がございました。本審議会は原則公開としておりますので、傍聴者にも予め入室していただいていることをご報告申し上げます。

続きまして、お手元資料の確認をさせていただきます。

### 会議次第

資料 1 パブリックコメントの実施経過報告

資料 2 一般廃棄物処理計画の策定の方針について 答申案

資料 3 ゼロエミッション計画 最終案

資料 4 食品ロス削減推進計画 最終案

資料 5 生活排水処理基本計画 最終案

資料 6 持ち込みに係る粗大ごみ処理手数料の改定について

でございますが、資料の不足はございませんか。

それでは、亀岡市循環型社会推進条例施行規則第5条第1項に基づき、会長に議事進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしく申し上げます。

### ■会長

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

「一般廃棄物処理基本計画の策定(改定)について(その 4)」について、事務局より説明をお願いします。

## ■事務局

それでは、一般廃棄物処理基本計画の策定について、ご説明申し上げます。スライドをご覧ください。

—資料を用いて、説明—

事務局からの説明は以上でございます。

## ■会長

只今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

## ■委員

意見ではなく感想です。最近ちょっとご説明に自治会回っていただいて、今こういう保存版の資料も作っていただいて非常にわかりやすくいいと思いながら見ていました。特に1～3ページ目に考え方が反映されていたので、ここの審議会で議論した内容が反映されていたのですごくよかったと思っています。あと、これを見て思ったのは、だいぶ変わっているんですね。分別がすごく多くなって、かつ今までの内容がかなり変わってきているので、簡単に全部皆さんが実行できるか、いろいろ問題が出るかなと思ったりしまして、これは感想なので構わないんですが、今までと違うところを何かここは変わったよと入っていればもう少しわかりやすかったと思っています。全く変わったのは、やっぱり紙類、草木類、金属類が新しく入ったので、これは新しく入ったということでわかりやすいんですけど、さっき会長さんが言っておられたプラスチックになってくると、似ているんですがちょっと違うというところがありまして、これでいいんですけれども、聞いた場合にどこが変わったのかっていうのが、いまひとつ皆さんに伝わるかなっていうのを思いました。

今後ですね、実施して、いろいろ問題というか、分別に問題が出た場合、機会を捉えて、もう少し問題になったところについて、例えばA4くらいの周知するチラシを出すとかですね。というのは、私の経験でいくと、いまだにこれでいうと紙類のところの分別が、見ないといつもわからないので、皆さんほんとにこういうのはわかるのかなと思っていて、皆さんこれを家の中のどこに持っているのかなというのもお聞きしたい。私は今言ったように、例えば紙だったらこのページだけ、どこか冷蔵庫の隣に貼るとかですね、ごみ箱の近くに置くとかまでしておかないとちょっとわからないということで、それは今後の話として分別はあまりうまくいかないよということがありましたらまた追加して計画していただきたいなと思います。

## ■会長

ありがとうございます。何かみなさん例えば、皆さんの周囲で、これからごみ出しのルールが変わるということでなにか話題になっていることがあれば。

## ■事務局

一応、情報だけ共有させていただくんですけども、委員からありましたように、少し紙とかプラスチックとか出し方が変わってきているということもあって、四月早々、びしとは多分いかないと思っています。ですので、柔軟に収集はするということと、あわせて今おっしゃっていただいたように、実態からどこに間違いが多いのかというのを分析しながら4月以降も説明会は継続をしたい。そして、さっき意見いただきましたので、ポイントとしてこういうところを注意してくださいというのを周知するということについてはあわせて出していきたいと思っています。

## ■会長

ちなみに私の周囲ではそれをご覧になって、ペットボトルの回収が今までの缶ケースじゃなくて透明な袋、市はレジ袋をなくして、そっちの袋はありなのというそういう批判というか誤解というかがあって。そういうときに僕が話したのは、近くにアルプラザがあるので、そもそも、そういうたいていの人が持ってくるスーパーでの回収がなくなるわけでもないし、かごの準備が大変だったり、傷んできていて、お金がかかるので、わざわざ新しい袋を買わなくても袋だったらなんでもいいんですよっていう言い方をしたらいいのでは。ホームセンターに行って別に袋を買わないといけないというふうに思っている方が結構多かったかな。それがレジ袋禁止っていうことと、相容れないんじゃないかっていうふうに感じられる方がまあまあいらっしゃいましたね。透明だったらなんでもいいですよっていうような柔らかい説明って必要かなとは感じました。今お話しした、委員からお話があった通り、これをより一層浸透するためにA4の紙でタイミング見て追加で周知っていうようなことも大事だという取り組みだと思いますので。

## ■委員

Facebook 上で、検索できるアプリみたいなものが出てましたよね。あれはすごいいいなと思ったんですけど、どなたかが Facebook であげておられて、例えば、「はさみ」と入れたら、それはどこに入るんだっていうのが検索できるようになってたんですけど、あれはすごいわかりやすいなと思いました。

## ■会長

それでいうと、市の LINE をみると、下にメニューが6つあるんですが、コロナが今2つを占めているので、ぼちぼちこういうのも。もうマスクも義務というか、今も義務ではないんですけども、自由になったりとか、もうすぐゴールインになるっていう感じなので、コロナのところの空きスペースをもらって、毎日のごみの検索がぱっとできるようにしていただいたら。

## ■委員

すごいいいと思います。

#### ■事務局

スマホ使える方ばかりじゃないですし、なかなか市の情報が届きにくい方もおられますので、あらゆるチャンネルを使って皆さんにごみの出し方の情報が行き渡るようにしていきたいですし、今回ですべて完成とは思っておらず、これからいろんなご意見を聞きながら、周知の方法も考えて分別拡大を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### ■会長

ぱっと、ちなみにこのLINE でいくと、デジタル市役所というところを見ると、申請とかですね、粗大ごみのこととか、そこは出てくるんですが、普段のごみのメニューにはたどり着けないです。もったいない。ごみ出しのルールとか、ごみ分別ルールとか、誰が見てもわかる名前にしておいて。勝ち取ってください、ぜひ。

#### ■委員

さっきのお願いしたらしなんかで、その情報はここにありますよ、というのを最近よくやられていまして。ここに QR コードをつけて、それはすごくいいんですけど、ひとつ気にしておいてほしいのが、QR コードっていうのは年配者には無理なので、どうしてもやっぱり100%スマホに持っていくっていうのはちょっとできないっていうことを頭の隅にちょっと入れていただきたいです。

#### ■会長

それなんかはむしろ地域なんかをまわって説明会をして頂いているんですけど、そういうところに参加されない若い世代とか、自治会に加入されてない方は QR コードからみてくださいとするなど、両方必要ということですね。

#### ■事務局

民生委員さんとも連絡を取りながら、個別にでも説明に行きたいと思ひています。

#### ■委員

4 月の本格実施になりますが、現場では混乱になると思ひます。現場のスタッフに事細かに説明したり周知することはできないと思ひますので、そのあたりの対応をどのように考えておられるか聞きたいです。

#### ■事務局

説明会でも、間違っただけものがあつたらどうするのかという意見がありました。もともとのルールで燃やすごみに紙やプラスチックが入っていても収集はしますと伝えてあります。収集する方も困りますし、集積所の近くの方にも迷惑がかかりますので、当面は持ち帰りますと言ひています。

ちなみに、60 か所をめぐって、拍手をいただいたのは 2 か所、残りは意見をいただきました。

#### ■委員

市民は変わることへの不安が一番だと思います。ある期間は、お試して練習して、間違いは間違いだと気づけます。臨機応変に現場でも対応していただいたらと聞きました。高齢者で身体の不自由な方や引きこもっている方に伝えられていない現状もあるかと思います。そのなかでみんなでスタートして、自治会と横の連携をしながら周知するのが必要かと思います。

冷蔵庫でマグネットなどの貼りやすいものなどを作ってもらったらいいかないかと思います。

#### ■会長

町内会でも、面倒という声も出ました。2 ページに 100 億円と出ているのを見ると、それはまずいな、やらんとあかんとなりました。

#### ■委員

学校で取り組んでいることは残念ながらなくて、うちの学校は小規模なので、ビニールと燃えるごみは分別していて、さらに細かくなると現場でも話していました。周知でぱっと見で見やすいといいながらも、また出すときに見ようかといいながら、二回日本当に見るのかと思うような場面もありました。また校長会ではこの話をしたいと思います。

#### ■会長

うちも今学校でお世話になっていますが、文房具やあさがおの植木鉢など、教材でもプラスチック製品が多くて、今まで黄色のごみ袋に入れていましたが、今度プラスチック一括でリサイクルできるようになるんですね。教材ひとつとっても、学校と連携してできることが出てくるかもしれないですね。しかし、すごい数になりそうですね。

#### ■委員

園部の税務署から、税の出前授業の話をしているので、将来的にはそういう比較があればお願いしてもいいです。現場もまだ認識不足ですので、教育しながら。

#### ■事務局

学校現場では、環境教育という形でお世話になっていきますので、今回のようなこともメニューに加えてお世話になりたいと思います。

#### ■会長

南丹市では地域の行事と学校の行事が重なっていて、市の職員がイベントに来て一緒に考える機会があります。子どもに言われたら、親って言うことを聞くので。

#### ■委員

子どもたちに伝えたいのが、フードロスもそうですが、過去の審議会で、ごみに親近感を持ってもらうためのポスターを作ろうというのがあって、私は京エコロジーセンターでスタッフをやっていたとき、3Rのコーナーがあって、リユースは簡単で、おもちゃを使って説明していました。リサイクルは紙がトイレトーパーになるんだよと伝えると、そうなんだねとなります。しかし、どれだけたくさん新品の食べ物が捨てられているかという写真を見せて皆さんびっくりされます。食品ロスのポスターを亀岡市が作るようになったのはよいことだと思うのですが、そのポスターをみてどうするか、ということなんです。なんでこんなものが出てくるのかなという会話が弾みます。展示するだけでなく、そこで考えてもらえるような標語を加えて配ってほしいんです。例えば3010運動の紹介などを付け加えてポスターにしてもらって、自治会でも市役所でもいいので、語りかけるような標語づくりを考えてもらいたいです。

#### ■委員

保冷のエコバッグはどうやって捨てたらいいのでしょうか。保冷剤とビニールは分ける必要があるのでしょうか。

#### ■事務局

プラスチックごみに入れていただければ大丈夫です。一旦再生事業者に戻って、その後選別処理をします。

#### ■会長

むしろ、袋に入るのであれば、無理に切り刻まなくて、そのまま入れてもらったほうがいいということですね。そういうこともお知らせしていただくのがいいですね。無理に小さくすると材料の表示も分からなくなりますね。

#### ■事務局

最近リサイクルが叫ばれるようになって、事業者もリサイクルできる品数が増えてきたので、うちでも対応していく必要はあるので、細かくするよりは、大きいままのほうがありがたいかもしれないです。

#### ■委員

前回は欠席したので抜けているかもしれませんが、ゼロエミッション計画の2ページの新しい計画の実行の子育て支援のところについてですが、ゼロエミッション計画に入っているのはなぜなのかな？と思いました。私は子どもがいるのでありがたい話ではありますが、ここに入るのかなと気になりました。

答申にも、子育ての方に回します、子どもファースト事業の方に経費をシフトさせるとはっきり書

かれてあり、個人的にはありがたいことですが、ここに書くのはふさわしいのかと気になったんですけれども。

#### ■事務局

ごみの減量など、この計画の目的を皆さんに話していただくなかで、経費が減るという目標を明確にしたほうが取組やすいよねという意見が出ていました。リサイクル率を上げるなど、これをする事で、次の福祉、子育て、教育などに予算が回せるよねということで記載したんですけれども。ただ単にごみを減らすだけでなく、その次に繋がることを明記することで、ごみを減らすことについても機運が上がることを目指しています。

#### ■委員

子どものほうへ回すことはいいことで、必要なことだとは思いますが、実際はもうちょっと福祉系であるというか、子どもが目立つことが気になりました。計画の中ではないと思うので、気になります。

あと、ゼロエミッション計画の12ページ、13ページで、膨大な量のスタッフと取組が書かれてあり、他の部署とも協力してこの内容をやっていくとおっしゃっていましたが、課長の部署でやるのがすごく多いのではないかと思ったのですが、人員の補填などはあるのでしょうか。

#### ■事務局

補填まではわかりませんが、目標はこれくらいのことをしないとごみを減らせないということがありまして、今回は紙など分別ですが、将来的には生ごみも含めて減らして焼却処分場を作らないでいこう、前の計画では最終処分場を作らないようにしようということは思っておりまして、そのためにこれだけのことはしないとイケないですよ。私たちだけが何か頑張るのではなく、廃棄物に関する企業も増えてきて、協力会社も募って、そういう方にもお願いして、何か仕事になって、相互援助の協力体制を作っていきたいと考えています。

亀岡市の組織でいうと、環境を基軸に色んな政策を展開していくということで、各部署が全市体制で、企業さんの力も借りながら、やっていこうと思っています。

#### ■会長

企業の連携と出ましたが、カインズさんとして、商品を納入されている各メーカーの取組もありますが、今後さらに改善すべき点などありましたら。

#### ■委員

あるメーカーのシャンプーがエコボトルになって、今まで詰め替えのパックをボトルに詰め替えていてこれが手間だったのが、詰め替えボトルのまま使える商品が出たのですが、あまり売れてなくて、その理由を考えました。エコだというだけでなく、それを使うメリットも伝えていく必要があ



るのだと思いました。

#### ■会長

メーカーの方と話していても、自分のところだけでやっているとなだの宣伝になるけれど、自治体とやると社会的な効果も出てきます。ですので、市もメーカーと共同で取り組むことも広げていただきたいと思います。

#### ■事務局

例えばご家庭でプリンターを植え替えるときに土をどうしようか、土は廃棄物ではないというのが盲点なのですが、それを店頭で回収して新しい再生土として販売していたなというのを思い出しました。そういう連携が行政もできれば、そんな形を企業さんと一緒に考えていけたらと思いました。プラスチックを資源として返ってくるときに、例えばそれを使った資源を店頭で売っていただくということも、今後、資源循環がクローズアップするなかで注目されるかと思います。

#### ■会長

企業や地域の団体さん、自治会、NPO を含めて、積極的な取組を進めていただいているので、表彰、感謝状を、去年でしたっけ、初めて亀岡環境賞というのを、今後ゼロエミッション計画の推進に貢献していただいたところへ増やしていく計画はありますか。

#### ■事務局

今の表彰は、レジ袋提供禁止という条例に基づく表彰なんですね。今、範囲というのは限定されているところで、11月の市の表彰式典の中で一緒にその表彰ができないかを視野に入れながら検討しているところです。

#### ■会長

小売店もあれば、廃棄物関連の事業者さんが、ちゃんとしたことを取り組んだときに、ちゃんと評価されることが大事だと思います。

#### ■委員

最近、長岡京市の小学校を訪問して、そこがフードロス指定学校だと聞きました。そういうことを推奨する動きがあってもよいと思いました。

企業関連だと、なぜこんなフードロスを買いきちやうのかを考えたときに、りんご1個100円とりんご3個200円で売っていたら、私は3個を買っちゃうんです。究極の売り方は、フードロスを考えて、個売りになるんじゃないかと。企業を調べるときに、スーパー由来の、お弁当を納めている企業があるときに、全く同じお弁当を配ると、多すぎる方や足りない方がいます。お店だと、少なめだと注文できますが、お弁当も、小・中・大とレパートリーを作ってははどうでしょうか。企業を

調査する際に、そのようなシステムを考えていただけたらと思います。

#### ■会長

王将もジャストサイズという少量のメニューを出して、ヒットしていましたね。市内のデリバリー弁当もサイズを選べるようにしたらいいですね。食品ロスの取組を工夫しているお店を紹介していくというのも工夫されてもいいですね。

#### ■委員

ゼロエミッション計画がかなり分厚いなかで、どう使われるのかが気になったのと、ごみ分別は住民一人ひとりが実際することだと思うので理解が得られないといけないと思いますが。そういった部分では保存版というのは細かいという人もいますが、古紙の油ついた紙まで書かれてあっていいと思います。

お願いしたいこととして、自治会として配ったのは自治会に入っている人だけなんです。移住者にも徹底しないといけないと思います。東京ではもっと分別区分が粗いそうです。亀岡市に移住した人がなんだ？と思われぬような形の工夫や、個人個人がやれるための手助けを市がしてほしいです。慣れてしまえばなんでもないと思いますが、マニュアルを作ろうとはしていますが、我々も一から教えきれないので。

#### ■事務局

移住者というか、定年された方には市民会に来られるので、ごみ袋を含めて一式お渡ししています。自治会に加入していない方は把握もできないし通知がしにくいのですが、給付関係で通知がいかないけど案内しておられる方は窓口に来られるので、そういう方には案内しています。なかなか個人情報をもろうわけにはいかないのです。

ごみ処理基本計画は、ゼロエミッション計画という名前を付けていますが、法律で市が作成しなければならないものとして作成しています。皆さんの意見で出来たものですので、今後5年間、これを基準にごみ処理の施策を考えるためのものですので、分厚いですが、重要なものです。

今回深い議論がされたので、パンフレットにも「これって本当にごみ？」というメッセージもパンフレットに掲載させていただいた。2月25日にパンフレットを配布し、3月の広報かめおかを配ったんですが、見開きのところに、どういう思いでやっているのか、現状こうなったということをピックアップしています。3月1日には、後を追うように、分別の変更点をピックアップしたパンフレットを1枚もので配布したいと思っています。自治会に入っていない方や、JRなどの公共施設でも周知していく予定です。

#### ■会長

いちいち市役所にかみつく人はいて。燃やすごみの名前を変えたら、ネット上でかみついてくる方は必ずおられて。ひらパーがごみ箱を先取りしていたというニュースがあり、分別しまくりごみ

箱というおもしろいものでした。サンガの試合もひらパーと連携して再登場してもらおうとか、エコマルシェなどに置いて。楽しみながら、ふざけていると言われてもいいくらい、別にふざけているわけでも何でもなく、新しい制度が始まったことを楽しく周知していくこともいいなとニュースを見て思いました。ひらパーの園長が同級生の友達なのでいつでもつなげます。

#### ■委員

ゼロエミッション計画の直接の内容ではないですが、周知徹底が大事になってくると思いますが、いくらやったところで、一定数、意識の低い方はこれまでもいますし、これだけ細分化されてくると、今後クローズアップされてくるかなと思います。認識が不足していて、たまたま間違った出し方するとか違う日に出すのはいいですが、不法投棄への対策強化は大切だと思います。公衆用のごみ箱やコンビニにも店先に置かれているごみ箱でも困ってくると思います。

#### ■会長

自治会に入っていない方はごみ捨て場を使わせてもらえないから不法投棄しているという話がありました。本来は自治会とごみ捨て場は関係ない話なんですよ。市役所が仲裁する話でもないと思いますが。

#### ■事務局

加入されない方と自治会とのごみ捨ての相談は日常茶飯事です。加入・不加入の問題ではなく、お互いが使う場所なので、お互いが納得いくように話し合ってくださいとしかこちらからは伝えられない問題で、何か強制で決めるような話ではないです。

#### ■会長

前に気がつけばよかったんですが、生活排水処理基本計画の 27 ページの一番上の「し尿・汚泥の処理計画」のところで、(ア)の見出しが「排出抑制・最資源化計画」と書かれていて、例えば処理料金を上げることによって、排出を減らしていくということが一般的にイメージする排出抑制なのかなと。ここに書かれていることを見ると、公共下水に繋げていただくことで、いわゆるくみとりを減らすという意味の排出抑制なのかなと。よく読めばなんとなくわかるんですけど。

もうひとつ、再資源化計画というのが、汚泥を堆肥化していくとかいう話だと思うんですが、そのあたりがこのふたつの箇条書きの中からは読み取れなかったんですが、見出しに再資源化計画と書くのであれば、再資源化計画にあたる記述が必要ではないかと思います。おそらく以前お話しした中では、年谷の浄化センターで消化ガス発電ということを念頭に置かれていたと思うんです。そうすると公共下水処理センターと連携してそういう取り組みを進めていくっていうのは一言あれば整合するかなと。以前も口頭では説明されたように思うんですけど、追記だけお願いします。

#### ■事務局

一度検討させていただきます。

#### ■委員

市の校長会で話題になったんですが、12月に学校給食のストローをなしにしてほしいと、国と歩調を合わせてということで、市長から依頼がありました。牛乳アレルギーの子もいるので、消毒したはさみを渡してできないかということだったんですが、おそらく無理なんですね。給食数が5,100人分で、毎日5,100本のプラスチックストローが捨てられていくのを解消するには、牛乳パックの形状を変更することで解消はできるという話が出ました。JAから仕入れているため、その形状変更には施設投資が必要なので、工場長からこれ以上のことはできないということですが、そのあたりが改善されればプラスチックごみを減らす取組が学校給食でも出来るということがありました。そういう点でも企業との連携をしてもらえると、何もなくてもプラごみの削減につながると思いました。

#### ■事務局

企業連携といっても、作るほうの話なので自治体には如何ともしがたいことですが、環境省とも話をすることがあって、経産省とも手を取り合って、複雑なプラスチックが色々使われているのを種類を減らすとか、リサイクルを前提としたものづくりをするという動きがありますので、ただ、アレルギーがある子のためにどうするというのは。

#### ■委員

アレルギーというのは、JAの四角いパックを横に開いて飲むときに、はさみを切ると、はねたときに保証ができないということです。

#### ■事務局

無理をしまでリサイクルや減量をする必要はないので、長い目でみていければと思います。

吉川小学校で試験的にやっていただいて、紙パックを回収してトイレトペーパーとして返すというモデル事業を去年やらせていただきました。アレルギーの話も、パックを洗ってもらう必要があり、金属のアレルギーもあるなど、課題をいただきました。

実際、口をあけてそのまま飲む紙パックはございますので、調整も今後していきたいと思います。京都府は一括して頼んでいるので、亀岡市だけというのは申込上難しいところがありますが、課題は克服しながら、教育機関とも連携していければと考えています。

#### ■会長

給食のストローは微々たるものではありますが、教育的な効果があります。昨年暮れの時点で13都府県が全面的に切り替えて、日本製紙さんや王子製紙さんの子会社なども設備投資されて

いて、基本的には既存のラインでしながら、ただでさえ先生はいま大変なのに、ご負担を増やすというよりは、市から納入業者に交渉していただいて。学校で授業させていただいたら、まずストローをやめたいという子が少なからずいて、うちの子はマイストローを持っていて、マイストロー持っていくといたらかっこいいですが、家に持って帰らず飲むたびに机に入れていたみたいで、今は自分の箸ケースに入れて持って行っているみたいですけれど。そういう子どもたちの声って、目に見える形で反映できた、しかも自分たちが在校しているあいだにというのがいい体験になります。

#### ■委員

委員の話はイノベーションに繋がる話だと思います。紙パックの形状を考えるという話でいけば、ジュースを飲むときもストローだと最後まで飲み干せないですね。そういう意味では、この時代感覚で言えば、ひょっとしたら企業のチャレンジみたいなこともできそうではと思います。亀岡の企業にも、新しい形状を考えるということも、環境もよくなるし、ビジネスチャンスになると思います。

#### ■会長

吉川小学校の紙のリサイクルは一回ですか？

#### ■事務局

単年度です。洗ってもらう作業が必要な点で、それがどうかというところが課題になっています。

#### ■会長

京都市も紙パックをトイレトペーパーにリサイクルしているので、京都市にのっけてもらって、亀岡市単独だと規模が小さいのであれば、是非ご検討いただければと思います。

#### ■委員

それって知らなかったんですけど、マイカップという方法で牛乳を飲むのはだめなんですか？

#### ■委員

うちではそうですね。

#### ■委員

マイボトル、マイバッグというこれまでの発想でいけば、次はマイカップなんですよね。余計なことだったらごめんなさい。

#### ■委員

小学校は歯磨きをしているので、コップがあるという話も出たのですが、それは衛生的にどうかとなりました。牛乳のためにマイコップを持ってきても誰が分量ごとに給仕するのか、コロナの中でも給仕制限があって、牛乳がはねるという問題が出てきます。

#### ■委員

給仕するのではなく、出てきた牛乳パックをそれぞれのカップに移し替えるのは。

#### ■委員

その作業に、はねが飛ぶということです。牛乳パックの口を開けるときに、いまの形状だと開けられず、はさみが必要になってくるので、はさみについたものが皮膚につくなど、色んなアレルギーの子がいる学校については安全性が確保できない。はさみで切ってそのまま飲めるのであれば、移し替える必要はなくて、移し替えた牛乳パックの油脂をまた洗剤で洗うということを考えると、そのまま飲める形状であればそれに越したことはないです。

#### ■会長

子どもらがマイストローを持っていくなど、自分の意思でコップに入れてやるということを妨げることではないけれども、全員になると一律の方法は難しいということですね。

そもそもなぜごはんの日に牛乳なのかという別の話が別の審議会であるんですけどね。これ、完全給食の法律の要件が牛乳なんですって。それをやめている自治体もありますけれどね。

#### ■委員

亀岡小学校に食物アレルギーのひどい子がいるんですが、了承の上で給食の時間はちょっと離れて食べているんです。大豆があかん子は味噌汁がはねたらだめなので、ちょっと離れて食べているんです。嫌な気分で食べるのではなく、お互いに子ども達が、あの子はついたらあかんからと。こぼしたときも、みんなが「拭いたらあかんよ」と言って、子どもたちが声をかけることが自然とできていて。だからはねる心配はないのではと思うんですが。

#### ■委員

余談ですが、小麦アレルギーや米アレルギーの対応を見たら、アレルギーを持っている子がいたら、その子が受けるような材料そのものを使わないです。ところが学校給食ではありえないでしょ。ある意味で、5,100食も揃えるとすごく高くなるんですよ。規模の問題もあるかなと思う。アレルギーの問題は孤食や心の問題にもひっついてくるので3時間くらいの論議になります。

#### ■会長

無理なく、ただ一方でプラスチックごみを減らしたいという子どもらの声も大事にしながら、市役

所は難しいところだと思えますが、色々取り組んでもらいたいと思えます。

では続きまして、「持ち込みに係る粗大ごみ処理手数料の改定について」について、事務局から説明をお願いします。

#### ■事務局

それでは、持ち込みに係る粗大ごみ処理手数料の改定について、ご説明申し上げます。資料をご覧ください。

—資料を用いて、説明—

事務局からの説明は以上でございます。

#### ■会長

只今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

#### ■委員

処理改訂の目的は何なのか、不合理の解消はあると思えますが、それ以外にありますか。

そうすることによって、持ち込みがどれくらい増えると予想されていますか。

#### ■事務局

不合理の是正が本来的な目的でございます。副産物といえますか、それに応じて、連絡いただいて収集する回数が減ると思っています。そうすることによって収集の負担が減ることがメリットと考えています。

分別拡大のときに、資源ごみについては料金をいただかないことで、社会情勢と物価高騰をみて、そこは見合わせようとなりました。資源化を促進するという意味では、持込者の便を図ることとあわせて、資源化の促進ということも料金の低減とあわせて進めていきたい。それと回収効率を上げていくという効果を狙っています。

あと、見込みですが、急いでいる方もおられるので、2～3割程度は持ち込まれるかと思っています。

#### ■会長

粗大ごみの不法投棄をしていた人に対して、値下げしましたとは書けません、例えば「利用しやすくなりました」など、持ち込みができるということをご存じない方も沢山おられるかもしれないので、そういうところにアピールというか、こういう仕組みもあるんだということを示していただければと思います。

■会長

答申の文章で、委員からご指摘いただいた点とも関係するんですが、答申の文章では「子どもファースト事業の推進等の福祉施策」この表現でいいのかどうか。あるいはゼロエミッション計画の2ページでは、「子育て支援・福祉・教育」と入っているので、子どもファースト事業をアピールしたいのは分かるんですが、福祉といえはすべての世代、すべての方を対象とした言葉でもありますので、「等」なのか「推進をはじめとして」なのか。それと、「教育」をつけなくていいのか。

■事務局

そうですね。計画の中にも入っていますので、できたら入れたいと思います。

■委員

大丈夫です。

■会長

福祉施策の後に「・教育」を追加してください。

■事務局

「福祉・教育施策」ですかね。

■会長

ごみ処理手数料の改正については了承ということでよろしくお願いします。

■事務局

事務局の連絡事項としまして、今後のスケジュールでございます。本日の審議を踏まえて、答申案を確定し、会長、副会長から市長に答申をいただくこととしております。その後3月末頃を目処に最終的な計画として策定したいと思っています。

■事務局

それでは、閉会の挨拶として副会長よりお願いいたします。

■(副会長挨拶)

■事務局

審議会は今年度最後となります。事務局を代表して環境先進都市推進部長からご挨拶申し上げます。



■(事務局挨拶)

■事務局

以上で、第54回亀岡市循環型社会推進審議会を閉会させていただきます。皆様、ありがとうございました。

(閉会)

以上